

平成27年9月 全国百貨店売上高概況

平成27年10月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,463億円余
2. 前年同月比	1.8% (店舗数調整後/6か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	82社 238店 (平成27年8月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,038,868㎡ (前年同月比:-1.6%)
5. 総従業員数	77,180人 (前年同月比:-2.0%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	2-4月 -4.7%、3-5月 -3.1%、4-6月 6.4%、 5-7月 3.3%、6-8月 2.2%、7-9月 2.7%

[参考] 平成26年9月の売上高増減率は-0.7% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

月全般を通じて全国的に雨天日が多く、特に東日本では台風接近により記録的な大雨となるなど来店客数にも大きな影響を与えた。しかしながら、シルバーウィーク期間中の好天、国民の休日1日増もあり6か月連続のプラスとなった。地区別では天候不順の影響を受けた北海道、東北、関東で前半の遅れを取り戻せなかったものの、その他の地区では概ね好調に推移した。

商品別では、主要5品目のうち、衣料品が前年に届かなかったが、身のまわり品(+4.6%)、雑貨(+11.0%)が6か月連続のプラス。家庭用品(+0.5%)、食料品(+1.6%)も健闘した。

細分類では化粧品(+15.3%)、美術・宝飾・貴金属(+13.6%)が6か月連続で2桁増を記録したほか、紳士服(+0.7%)、子供服(+1.3%)も堅調だった。一方、天候与件から価格の高騰した葉物野菜を含む生鮮食品が前年を下回ったが、菓子(+2.4%)、惣菜(+2.2%)、その他食料品(+2.7%)が揃って前年を確保した。

訪日外国人動向は、購買客数が231.8%増、売上高も180.0%増と増勢が続いており、2013年2月から32か月連続のプラス。高額品の売上が国慶節を前に若干ペースを落としたが、化粧品を含む消耗品の売上が確実に伸長し、シェアも拡大している。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇上旬は低気圧や前線が日本付近を通過し、曇りや雨の日が多く気温の低い日が続いた。9日には台風18号が東海地方に上陸、日本の東海上を台風17号が北上した影響も加わり、関東地方から東北地方では記録的な大雨となった。東日本・西日本共に日照時間は少なく、月平均気温はかなり低かった。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比-0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日/国民の休日1日増)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数135店舗)

①増加した：41店、②変化なし：32店、③減少した：62店

(5) 9月歳時記 (シルバーウィーク、敬老の日、彼岸) の売上 (同上/有効回答数113店舗)

①増加した：21店、②変化なし：71店、③減少した：21店

全国百貨店 売上高速報 2015年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	446,384,711	100.0	1.8 (1.3)
10都市	304,016,437	68.1	3.9 (3.7)
札幌	11,473,578	2.6	0.4
仙台	6,557,185	1.5	5.0
東京	117,321,040	26.3	4.9
横浜	26,141,113	5.9	1.2
名古屋	29,919,295	6.7	3.2
京都	18,227,892	4.1	5.0 (1.5)
大阪	57,904,116	13.0	3.8
神戸	11,536,074	2.6	2.8
広島	9,462,025	2.1	-0.5
福岡	15,474,119	3.5	9.1
10都市以外の地区	142,368,274	31.9	-2.4 (-3.6)
北海道	2,354,492	0.5	-5.4
東北	6,995,271	1.6	-5.8
関東	65,436,902	14.7	-5.0
中部	10,591,990	2.4	-1.6
近畿	18,973,361	4.3	-0.1
中国	10,116,431	2.3	1.3
四国	7,250,240	1.6	-0.2
九州	20,649,587	4.6	2.8 (-5.3)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	446,384,711	100.0	1.8 (1.3)
紳士服・洋品	27,556,280	6.2	0.7 (0.3)
婦人服・洋品	98,828,905	22.1	-3.8 (-4.3)
子供服・洋品	10,052,177	2.3	1.3 (1.1)
その他衣料品	10,563,938	2.4	-6.1 (-6.5)
衣 料 品	147,001,300	32.9	-2.8 (-3.3)
身のまわり品	61,473,136	13.8	4.6 (3.9)
化粧品	32,809,892	7.4	15.3 (15.0)
美術・宝飾・貴金属	27,592,950	6.2	13.6 (13.3)
その他雑貨	17,530,207	3.9	0.4 (-0.9)
雑 貨	77,933,049	17.5	11.0 (10.4)
家 具	5,966,787	1.3	7.0 (6.2)
家 電	938,849	0.2	-10.3 (-10.6)
その他家庭用品	14,382,936	3.2	-1.2 (-1.5)
家 庭 用 品	21,288,572	4.8	0.5 (0.1)
生 鮮 食 品	23,667,290	5.3	-1.3 (-2.2)
菓 子	28,780,279	6.4	2.4 (2.0)
惣 菜	26,818,391	6.0	2.2 (1.8)
その他食料品	32,356,469	7.2	2.7 (1.9)
食 料 品	111,622,429	25.0	1.6 (1.0)
食 堂 喫 茶	13,449,145	3.0	-0.9 (-1.2)
サ ー ビ ス	4,807,733	1.1	-8.7 (-8.9)
そ の 他	8,809,347	2.0	6.5 (5.8)
商 品 券	9,263,858	2.1	-6.7 (-6.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	3.9% (店舗数調整後/6か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-2.4% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	3.9	2.6	6か月連続プラス
札幌	0.4	0.0	3か月連続プラス
仙台	5.0	0.1	2か月ぶりプラス
東京	4.9	1.2	6か月連続プラス
横浜	1.2	0.1	3か月連続プラス
名古屋	3.2	0.2	3か月連続プラス
京都	5.0	0.2	2か月連続プラス
大阪	3.8	0.5	6か月連続プラス
神戸	2.8	0.1	3か月連続プラス
広島	-0.5	0.0	3か月ぶりマイナス
福岡	9.1	0.3	3か月連続プラス
10都市以外の地区	-2.4	-0.8	4か月連続マイナス
北海道	-5.4	0.0	5か月連続マイナス*
東北	-5.8	-0.1	4か月連続マイナス*
関東	-5.0	-0.8	4か月連続マイナス
中部	-1.6	0.0	2か月連続マイナス
近畿	-0.1	0.0	4か月連続マイナス
中国	1.3	0.0	3か月連続プラス*
四国	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
九州	2.8	0.1	3か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品、雑貨が6か月連続、家庭用品が3か月ぶり、食料品が4か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属、惣菜が6か月連続、紳士服・洋品、子供服・洋品が3か月連続のプラス、その他食料品が4か月ぶり、家具、菓子が3か月ぶり、その他雑貨が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.8	—	6か月連続プラス
紳士服・洋品	0.7	0.0	3か月連続プラス
婦人服・洋品	-3.8	-0.9	2か月連続マイナス
子供服・洋品	1.3	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	-6.1	-0.2	3か月ぶりマイナス
衣料品	-2.8	-1.0	2か月連続マイナス
身のまわり品	4.6	0.6	6か月連続プラス
化粧品	15.3	1.0	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	13.6	0.8	6か月連続プラス*
その他雑貨	0.4	0.0	2か月ぶりプラス*
雑貨	11.0	1.8	6か月連続プラス
家具	7.0	0.1	3か月ぶりプラス
家電	-10.3	0.0	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.2	0.0	2か月連続マイナス
家庭用品	0.5	0.0	3か月ぶりプラス
生鮮食品	-1.3	-0.1	18か月連続マイナス*
菓子	2.4	0.2	3か月ぶりプラス*
惣菜	2.2	0.1	6か月連続プラス*
その他食料品	2.7	0.2	4か月ぶりプラス*
食料品	1.6	0.4	4か月ぶりプラス
食堂喫茶	-0.9	0.0	4か月連続マイナス
サービス	-8.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他	6.5	0.1	2か月連続プラス
商品券	-6.7	-0.2	55か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>